

2022年度 日本工学院専門学校											
情報ビジネス科											
応急手当											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	山下 恵子			実務経験	有	職種	救命救急士				
担当教員紹介											
高度かつ専門的な資格所持のもと医療機関にて実務経験を積む。「救命救急士」の資格所持をもって実践的な授業を展開する。											
授業概要											
突然の事故や病気など救急車を呼ぶような現場に遭遇したとき、救急隊員や医療従事者車での間、応急手当を行う必要がある。様々な事象の応急方法を理解することで対応できるようにする。また、サービス介助の高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心してもらう方法を学ぶ。											
到達目標											
サービス介助として、高齢、聴覚障がい者、車いす利用者、視覚障がい者への対応方法を理解する。											
授業方法											
応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人の対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応ほ、溺れている人への対応方法。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 応急処でのポイントについて理解できる										
第2回	AEDの使い方（1） AEDについて理解できる										
第3回	AEDの使い方（2） AEDを使用した心肺蘇生について理解できる										
第4回	AEDの使い方（3） AEDを使用した心肺蘇生、実演について理解できる										
第5回	気道異物除去方法 気道異物除去方法について理解できる										

2022年度 日本工学院専門学校	
情報ビジネス科	
応急手当	
第6回	倒れている人への応対方法 倒れている人への応対について理解できる
第7回	出血している人への応対方法 出血している人への応対について理解できる
第8回	けがをしている人への応対方法 けがをしている人への応対について理解できる
第9回	熱傷の場合の処理方法 熱傷の場合の処置方法について理解できる
第10回	溺れている方への応対方法 溺れている人への応対方法について理解できる